

拠出金名：メコン河委員会拠出金

国際機関等名	メコン河委員会 (略称) MRC					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注2)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	38,820	318		1\$ = 122円	(2002年)	100
平成13年度	39,665	371		1\$ = 107円	(2001年) 0.0(注3)	100
平成12年度	42,197	402		1\$ = 105円	(2000年) 11.1	100
	(注1)					
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2001年のもの	
1位	デンマーク		68.7			
2位	スイス		10.8		(注3:平成13年度我が国拠出金は 2002年3月に振り込まれたため、 2001年度MRC会計資料には計上さ れていない)	
3位	スウェーデン		9.9			
4位	国連開発計画(UNDP)		6.7			
5位	オーストラリア		2.3			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
○メコン河委員会はメコン河流域の持続的開発に係るあらゆる協力を行う機関として、唯一の常設の事務局をもっている。メコン河委員会のこうした役割は、メコン流域における基礎食糧の確保、貧困の解消、政治的な安定に大きく寄与している。 ○加盟国の人材を積極的に採用しており、加盟国の人材育成や相互理解の促進を寄与している。 ○ドナー協議会等を通じ、我が国を含む各ドナーの意見が把握され、業務実施に反映されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
○メコン河委員会に求められる業務が増大するなか、2001年より人員配置の見直し、会計システムの構築、業務推進マニュアルの改定等を行っており、業務の合理化が図られている。 ○メコン河委員会は持続的開発に必要な調整を行う環境部を創設すると共に、加盟国間の共通課題である水利用規則策定等の作成を行っており、業務の機能強化が図られている。						
邦人職員数 うち幹部以上	3 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		110人 2.7%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 農林水産省拠出分のみ。我が国からの拠出額(うち外務省拠出額)は次の通り。

平成14年度: 418千ドル(100千ドル)、平成13年度: 825千ドル(454千ドル)、平成12年度: 1,001千ドル(599千ドル)

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。